

長岡京市議会議員 暮らしに安心としあわせを
～ともに歩む市政を目指します～

白石たづ子レポート たんぽぽ通信



たんぽぽ通信
Vol,13
2020 雨水号



発行日 令和2年2月19日

発行者 白石たづ子

発行元 たんぽぽの会

〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内横ヶ端1-5

Tel/Fax: 075-953-5226 携帯: 090-1022-2022

E-mail : info@shiraishioffice.jp

<https://shiraishioffice.jp>

■令和元年12月議会・待機児童の現状と今後の対策について

https://shiraishioffice.jp/assembly_report/post_111.html (令和元年12月議会一般質問答弁要約は白石たづ子HPに掲載)



令和元年12月議会では、平成30年12月議会で白石たづ子が質問並びに提案をさせていただいた「待機児童の現状と今後の対策について」その後、どのように対応されているのか、新年度の入所選考にあたり、どのように公平な選定をされているのかを質問させていただきました。市長答弁要約は下記です。

- 育休延長のための入所保留通知や入所できても希望園ではない場合、市基準では待機児童としている。この考えでは「就労のために入所させたい」という方の実数把握が難しい。(※本市では、国基準の待機児童数は0人。)
- 平成30年12月議会において、白石議員から提案があったが育休延長に必要な保留通知を受けるための入所申請者を把握するため、入所申請書の様式変更等について検討した。令和2年度の入所申請からは「育児休業延長希望の減点」というチェック項目を追加し、その実態を把握する。現在、その実数を市基準の待機児童から差し引く方式へ変更することについて検討している。次回の児童対策審議会での審議を経て、基準変更を行って行きたいと考えている。

令和元年12月議会一般質問

- ・ 高齢難聴者支援について
- ・ 待機児童の把握方法について
- ・ 神足保育所の民営化について

一般質問の答弁要約や賛成討論は白石たづ子のホームページに掲載しています。ぜひご一読下さい。「白石たづ子」で検索して下さいね。

白石たづ子(白石多津子)

大山崎小学校、乙訓中学校、光華女子高校、大谷大学 関西大学法学部大学院(法学政治学専攻)修了
長岡京市議会議員、社会保険労務士
学校法人京都光華女子学園評議員、保護司

【1期目】

文教厚生常任委員会副委員長、総務産業常任委員会委員
予算審査常任委員会委員、決算審査常任委員長
乙訓福祉施設事務組合協議会議員、公共施設特別委員会委員

【2期目】

総務産業常任委員会委員、議会運営委員会委員
予算審査常任委員会委員、乙訓福祉施設事務組合協議会 副議長

【2期目後期】

文教厚生常任委員会委員、予算審査常任委員長
乙訓福祉施設事務組合協議会 副議長

白石たづ子おしゃべりサロン

子育て・仕事・介護・ざっくばらんに話しましょう

日時: 毎月第2土曜日10時~17時まで

※次回は3月14日(土)開催です。

場所: ロングヒル2階202

参加無料・予約不要です。

どなたでもご自由にご参加いただけます。

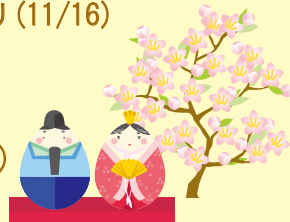


市民の皆さんと一緒に。様々な活動に参加させていただきました*ブログでも紹介しています！



2019年10月～2019年12月

- フローリスト花珠リース作り (10/3)
- あらぐさひろば (10/5)
- 第57回市民運動会 (10/6)
- 第57回市民文化まつり (10/11)
- 敬老会 (10/14)
- 学童子どもまつり (11/3)
- 滝ノ町祭り (11/3)
- ガラシャ祭り2019 (11/10)
- マドレボニー産後ケアプログラム「バランスボール」 (10/15)
- 長岡京市環境フェア 向日市まつり (11/16)
- 宝積寺 出世石 (11/17)
- 市町村議会委員長研修会 (11/18)
- 第二回青少年奉仕担当者会議 (12/7)
- 長十フェスティバル (12/8)
- 西代里山公園「木陰づくりに樹木」記念植樹 (12/24)
- 長岡京市消防団 年末特別警戒 (12/28)



一般質問質疑応答
高齢難聴者支援について

質問
白石たづ子

聴覚障害は一部の限られた人の問題ではなく、70歳以上の2人に1人が持つ深刻な問題です。「加齢性難聴」は、治すことはできませんが、補聴器を利用して聞こえを改善することはできます。ですが、そのまま難聴を放置していると、コミュニケーションが減り、脳機能や生活の質の低下につながります。社会とのつながりや、コミュニケーションによる脳への刺激は認知症の予防に必要不可欠です。個人や社会に対して高齢期難聴がもたらす負の影響は、抑うつ、意欲や認知機能の低下、脳萎縮、要介護または死の転帰にまで及ぶと報告もあります。身体障害者手帳を所持するまでにはいかない高齢難聴者に、何らかの市としての支援が必要だと考えますが、市の見解をお聞かせ下さい。

答弁
健康福祉部長

現在実施している「介護予防事業」や「認知症施策総合推進事業」において、介護予防教室や各種講座などを通じて、高齢者の健康づくりの重要性を市民に広く啓発しているところです。今後とも、高齢者の方々が住み慣れた地域で、いつまでも元気に、健康で暮らし続けていただけるように、加齢性難聴も含めた健康づくりの啓発に努めてまいりたいと考えています。

もっとまちを良くするために～皆さまの声をお寄せ下さい～

長岡京

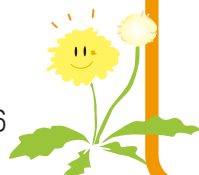
ともに支え合えるまちづくり

- * 高齢者の「活躍できる場所」
- * 一人暮らしの高齢者「みまもり隊」
- * 初期認知症の方へのケア体制
- * 子育て世代の仕事と仲間
- * みんなが安心して暮らせるまち

普段の暮らしの中で感じること
こんなふうにしたら、もっとよくなると
思うこと、ご意見ご要望など、
白石たづ子まで、お気軽に
お寄せください。

【ご連絡先】

E-mail: info@shiraishi.jp
Tel/Fax: 075-953-5226
携帯: 090-1022-2022



選挙に行きましょう

～街を、暮らしを良くするために～

皆さんの声を市政に届け
良い街づくりをするために
ぜひ選挙で、大切な一票を
投じて下さい。
それが、暮らしを良くする
ための、大切な第一歩です。